

平成27年度

「県産材利用課題についてのアンケート調査」報告書

平成28年3月

おかやま緑のネットワーク

## 目次

I	アンケートの概要	1
II	アンケート結果の概要	
	問1 仕事の分野について	3
	問2 県産材を使用しやすくするには	4
	問3 県産材の利用拡大に必要なものは	5
	問4 CLTが普及するためには	6
	問5 自由意見	7
III	調査票	
	調査票	10

### 注記

1. 結果は百分化で表示した。表及び解説の百分比は小数点第2位を四捨五入したため、合計が100%に過不足することがある。
2. 2つ以上の回答を認めたものは、その百分比の合計は100%を超える。

## I アンケートの概要

### 1 調査項目

県産材利用課題に関する意識調査

### 2 調査目的

公共建築物等に県産材を使用して建築する場合の利用課題について、関係者からの意見を今後の取組みに反映させるための参考とする。

### 3 調査期間

平成28年1月7日（木）～平成28年2月27日（土）

### 4 調査方法

会員にメール及びアンケート依頼者に手渡し

### 5 調査対象者

おかやま緑のネットワーク会員及び県産材に関心のある成人（性別及び官民職業を問わない）

### 6 回答者数

110人

### 7 アンケート結果のコメント

- 今年度のアンケートは、沢山の方からの回答を期待して、昨年度の記述式から今回は選択式に変えました。このことにより巾広いジャンルの人達から100通を超える回答を得ることができました。

以下にアンケート結果から各設問に対するベスト3の回答を整理しました。

#### 問2 県産材を使用しやすくするには、どのようにしたら良いか？

1. 単価を下げる工夫
2. 消費者へのPR
3. 補助金制度

問3 県産材の利用拡大に必要なものは？

1. 県産材取扱業者とのネットワークづくり
2. 一般民間建築物に県産材補助金制度
3. 県産材の利用相談が出来る場所

問4 CLTが普及するためには？

1. 価格が大断面木構造と同程度になること
2. 建築基準法の整備
3. CLTの構造計算ソフトと事例集の準備

問5 県産材の利用拡大につながる自由意見から（仕事分野別主なもの）

- ・流通からは、県産材の取り扱い窓口を設けて情報提供を行い、設計者・施工者がより利用したほうが良い。
- ・工務店からは、材木店から県産材利用のアピールをされたこともないので、今後はより積極的に使用のPRを進めて欲しい。
- ・設計者からは、県産材コストの開示と見積りを取りやすく窓口を設けて欲しい。
- ・その他、消費者には県産材の特徴や良さを伝える努力をネットワーク全体で推し進める必要がある。

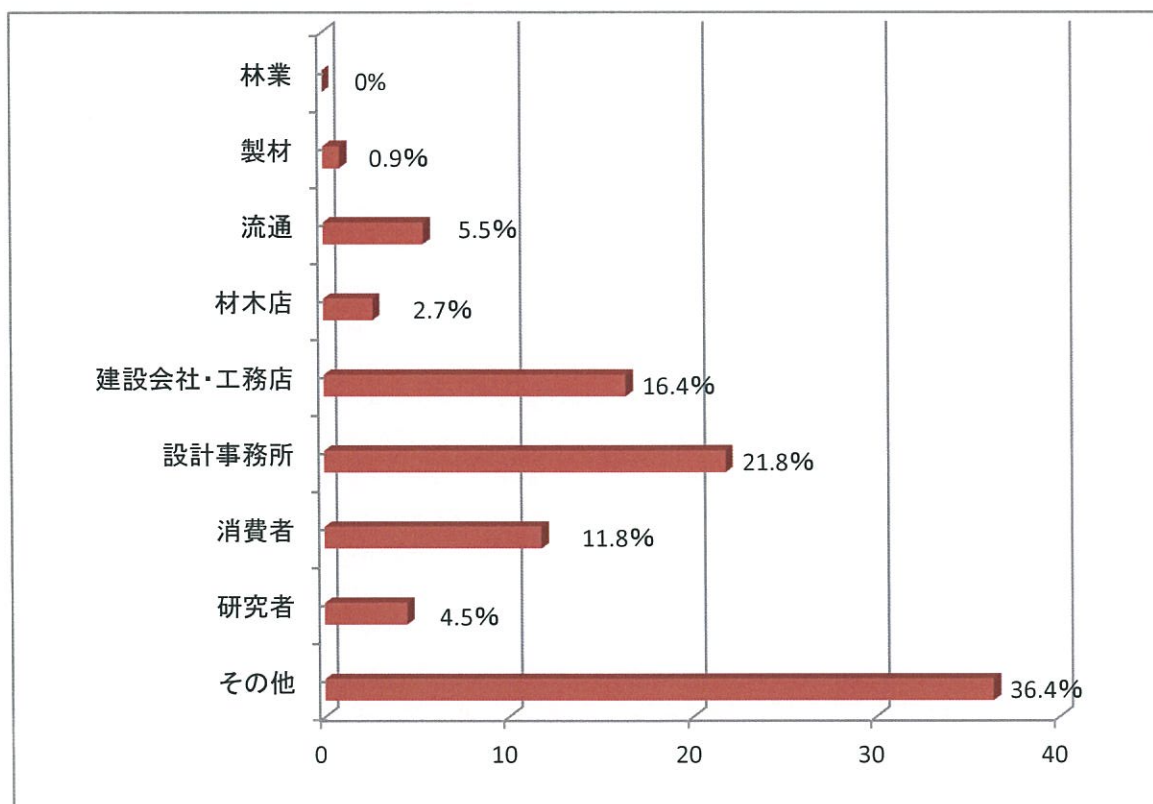
などの意見を伺いました。

## Ⅱ アンケート結果の概要

### 平成27年度 県産材利用課題についてのアンケート結果

問1 仕事の分野について該当番号に○をつけてください。

	選択肢	件数	%
1	林業	0	0.0
2	製材	1	0.9
3	流通	6	5.5
4	材木店	3	2.7
5	建設会社・工務店	18	16.4
6	設計事務所	24	21.8
7	消費者	13	11.8
8	研究者	5	4.5
9	その他（検査機関・公務員等）	40	36.4
	(全体)	110	100.0



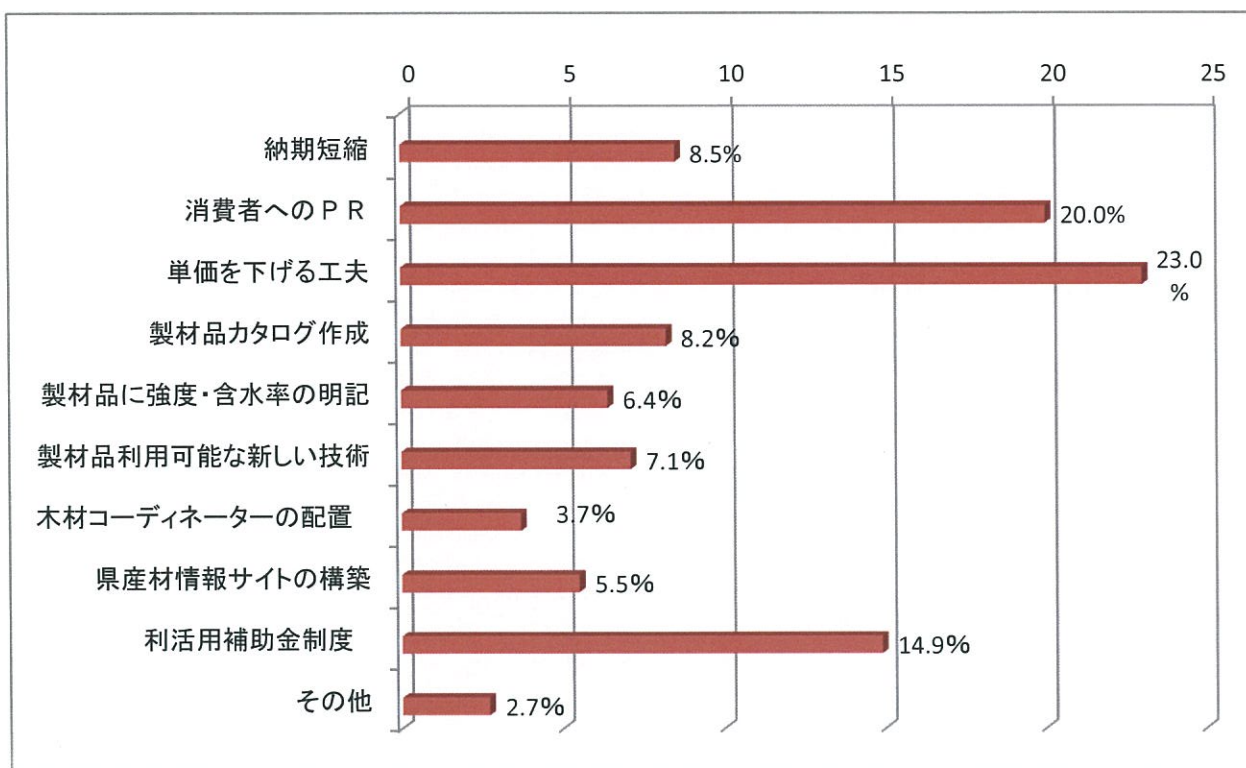
#### 「その他」回答内容

- ・ 建築確認審査機関
- ・ 公務員
- ・ サービス業
- ・ 構造体メーカー
- ・ 自動ドア

平成27年度 県産材利用課題についてのアンケート結果

問2 県産材（国産材）を使用するには、具体的にどうすれば使いやすくなる  
 と思いますか。  
 （重視するもの3つ選択）

	選択肢	件数	%
1	納期短縮	25	8.5
2	消費者へのPR	59	20.0
3	単価を下げる工夫	68	23.0
4	製材品カタログ作成	24	8.2
5	製材品に強度・含水率の明記	19	6.4
6	製材品利用可能な新しい技術	21	7.1
7	木材コーディネーターの配置	11	3.7
8	県産材情報サイトの構築	16	5.5
9	利活用補助金制度	44	14.9
10	その他	8	2.7
	(全体)	295	100.0



「その他」回答内容

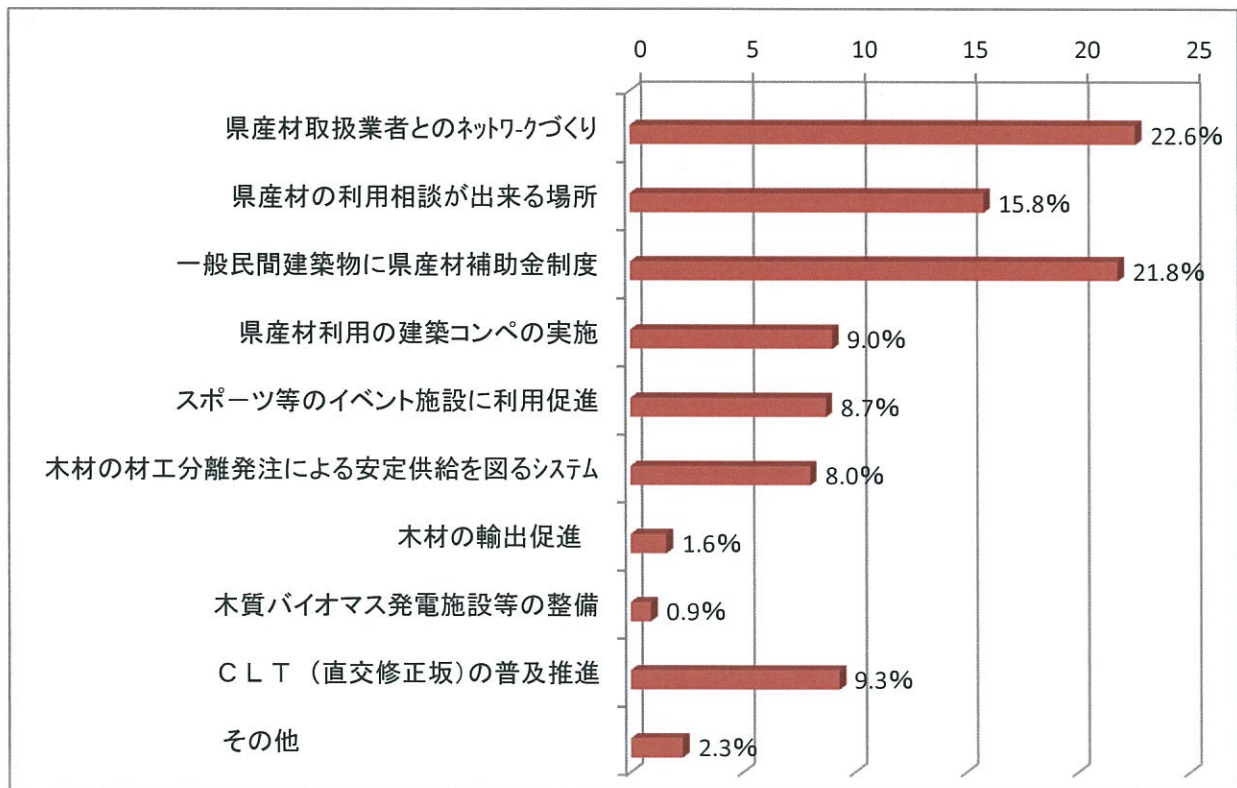
- ・ 県産材利用ポイントなどを知ってもらう工夫
- ・ 流通の仕組みが明確でない
- ・ 安定供給 2件
- ・ 価格を含め安定供給
- ・ 流通の簡素化
- ・ 乾燥材、JAS材の調達
- ・ 設計事務所の育成

※安定供給の2件以外はすべて1件

平成27年度 県産材利用課題についてのアンケート結果

問3 住宅や公共建築物・民間建築物において県産材（国産材）の利用拡大するには、どんな新しい制度や技術・情報が必要と思いますか。  
（重視するもの3つ選択）

	選択肢	件数	%
1	県産材取扱業者とのネットワークづくり	70	22.6
2	県産材の利用相談が出来る場所	49	15.8
3	一般民間建築物に県産材補助金制度	67	21.8
4	県産材利用の建築コンペの実施	28	9.0
5	スポーツ等のイベント施設に利用促進	27	8.7
6	木材の材工分離発注による安定供給を図るシステム	25	8.0
7	木材の輸出促進	5	1.6
8	木質バイオマス発電施設等の整備	3	0.9
9	C L T（直交修正板）の普及推進	29	9.3
10	その他	7	2.3
	(全体)	310	100.0



「その他」回答内容

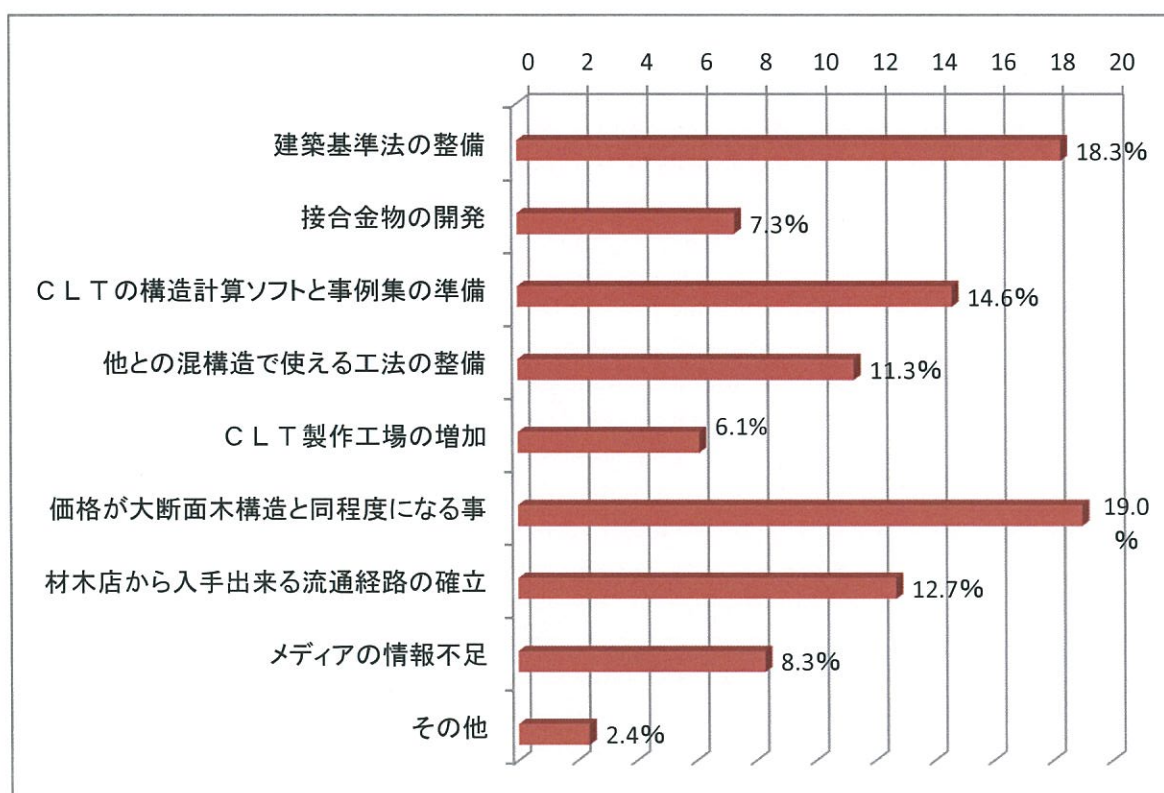
- ・ 木材の、質、規格、価格を公表する
- ・ 幼年期からの教育
- ・ 価格、性能や効果のPR
- ・ 設計事務所の育成、設計者へのPR
- ・ 木材技術職の育成
- ・ 建築基準法の整備（伝統的在来工法を生かす方向へ）
- ・ 住金木造基準の廃止（建基法で十分）

※以上全て1件

## 平成27年度 県産材利用課題についてのアンケート結果

問4 CLTが普及するための課題・問題点についてお聞かせください。  
(重視するもの3つ選択)

	選択肢	件数	%
1	建築基準法の整備	55	18.3
2	接合金物の開発	22	7.3
3	CLTの構造計算ソフトと事例集の準備	44	14.6
4	他との混構造で使える工法の整備	34	11.3
5	CLT製作工場の増加	18	6.1
6	価格が大断面木構造と同程度になる事	57	19.0
7	材木店から入手出来る流通経路の確立	38	12.7
8	メディアの情報不足	25	8.3
9	その他	7	2.4
	(全体)	300	100.0



### 「その他」回答内容

- ・コストの評価、CLTの使用例とコスト感がつかめないのが現状
- ・デザイン性の高い事例をたくさん創っていく事が大切、現状は、高価なだけでは？
- ・防火
- ・流通、運輸方法
- ・工事費をRC並にする事
- ・CLT建築ならではの良さや、効果やのPR
- ・CLT利用建築のデザインの洗練
- ・配管・配線のスマートな施工（目立たないように出来るか）



## 平成27年度 県産材利用課題についてのアンケート結果

問5 その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。（1）

**流通**

- ・ 品質のバラツキが少なくなるよう、更にレベルアップする努力が、製材所、製品流通業者にも必要である。そして価格も含めて安定供給も必須である。
- ・ メリット(補助金が多く出る)が充実してそれを一般に広く伝えることができれば良い。
- ・ 木材流通に関わる内々の話合いでなく、一般消費者への利用促進が重要で発信ツールができないか。
- ・ 幼少の頃から県産材に触れる環境整備と木の良さを体感出来る機会を増やす等、PR活動を増やしていくべきと思う。
- ・ 木質バイオマス発電が増加するにつれて、本来製材用にする原木が燃料になっていると聞きます。  
製材品→廃材チップの原材料として利用→廃棄物を燃料として利用することでCO2の排出量を削減というカスケード利用のサイクルをつくる事で、一般消費者の意識改革をする。  
⇒地球環境の保全
- ・ 設計の段階で「県産材」を取り入れてもらい、消費者にPRしていく。材料については、すべて取り扱いの出来る窓口を設置し、そこに一括発注、見積りのシステムが出来れば設計者、施工業者の手間も軽減でき、利用しやすくなるのではと考える。

**材木店**

- ・ 木といえば桧 桧と言えば効果／高級というイメージが払拭されることと適材適所の概念が浸透する事が必要と思う。

**建設会社**

- ・ 木構造の工学的アプローチの促進(構造ソフトウェア含む)

**工務店**

- ・ 補助金をもらうための手間がかかるので、手を出しやすい価格帯になってくれるほうが良い。
- ・ 価格が同じなら県産材を指定する方が増えると思う。又県産材の品質を明確に伝えられることができる品質基準などがあると、発注者に提案しやすい。
- ・ 材木店からアピールされた事がない、つまり供給側からの熱意がない、それはなぜ？価格、流通面なのか、いずれにしる一次的な供給サイドからのアプローチ不足、これにつきると思う。
- ・ 現に流通している構造材がどこの産地であるか、正直気にして使用していないが、あらためてみようと思う。
- ・ 木をふんだんに使った建物が好きな人は結構存在すると思う。  
消費者向けに県の木産材産地での見学会や森林保護の重要性を楽しみながら学べる機会があると良いと思う。

問5 その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。（2）

- 設計**
- ・ 利活用補助金制度について、もっと手続きが簡単な方が良く、又設計者にとっては、面倒なだけでなんらメリットがないと思われる。
  - ・ 岡山県が桧の生産日本一の事など、あまりにも知られていないので、良いネーミングをつけてPRする事が大切と思う。
  - ・ 樹種を増やす。
  - ・ 興味があるので利用しやすい窓口があれば使いたい。
  - ・ 公共施設への木材利用を進めるのが良いと思う。
  - ・ 施主が昔ほど木材の材種や産地にこだわるケースが少なくなっている、地産地消のメリットをPRすると共に大断面やCLTは、金物代が高いのでこの部分のコストダウンが必要。
  - ・ 木工事の材工見積が取りにくい、取れても耐格差が大きく判断が難しい。
  - ・ 施工会社の県内産へのこだわり、木材のみでなく他の素材についてもこだわりを持つべきである。
  - ・ 新しい工法が目新しく思えますが、日本の伝統建築の工法のすばらしいところを知るべきです。地球環境が温暖化することから、床下の風通しを考慮した工法は利にかなっているし、合理性が高いことを評価したい。何が価値があることか、皆に問われています。防火性能について、省エネ工法についても伝統工法から進化した形の建物を目指すべきです。

- 研究者**
- ・ 県産材に固執することよりも、まず国産材の利用促進を図る。

- 消費者**
- ・ 全くの素人なので、とても難しいアンケートでした。素人考えでは地球温暖化に直結するのでは(森林伐採)と考えるのでその辺の誤解を解く事も重要。
  - ・ 県産材を使用するメリットが伝わり、価格に納得感がでるようなPRをお願いします。

- その他**
- ・ 利用したら良い住宅になる事を多く知りたい。
  - ・ 公共建築では、木造以外の構造でも内装には極力県産材(国産材)を利用するような、ルールづくりが必要では。
  - ・ 地産地消、和文化、気候風土など、日本のものが調和する事を大事にする。
  - ・ 輸入材と同程度の価格で利用可能になれば・・・
  - ・ CLTの価格が下がれば、利用しやすいのでは・・・
  - ・ CLTを構造材として法的整備を早急に行なって欲しい。
  - ・ 木質材料の利点、S・RCとの違いや比較を一般の方、設計者に広く知ってもらう必要があると思う。その為に供給者、施工者、木造に詳しい設計者が一丸となり動いていく事が必要と思う。

## 平成27年度 県産材利用課題についてのアンケート結果

問5 その他県産材（国産材）の利用拡大について、自由にご意見をお書きください。（3）

- 
- その他**
- ・ 施主が使いたいと感じるようになるためには、建材PRだけでなく木その物の良さも伝えていく事が大切と思う。
  - ・ 公共建築物の木造化を強化する。
  - ・ 製材工場の所在地により県産材を定義する現状において、あまりに県産材にこだわる  
と外材を輸入して加工する事に対応する事となり、原木生産や山の維持に必ずしも結び  
つかない事を認識するべき。
  - ・ 耐水、耐候、耐久性、加工性を上げる事により、プラスチックに変わる物として使用出来る  
材料にならないだろうか？  
便座（暖かそう） 手洗器（見たことない） 天井材（耐火がネック）
  - ・ 工務店やハウスメーカーが、消費者へ普通に提案できるような環境までつくりあげる事が  
必要。  
行政や技術者、専門家の意識が変わっていくこと。
-